

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-92	高等学校	公民	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	公共104-901	改訂版 公共		

1. 編修の基本方針

- (1) 教育基本法や学習指導要領における目標が達成されるよう、学習指導要領の内容や、その取扱いに示された事項に準じて編修した。
- (2) 公民科の必修修科目として、人間と社会の在り方についての基本的で幅広い知識・教養、および情報を適切かつ効果的に取り扱う技能を身に付けられるようにした（「SKILL-UP」など）。さらに、ある話題について深く掘り下げる必要がある場合には「CLOSE-UP」で詳しく解説した。
- (3) 学習した知識・教養・技能を基礎として、学習者が人間としての在り方生き方についてみずから考えようとし、また社会の形成に主体的に寄与しようとする態度を育成できるよう、探究的な活動を行うコーナー（「Thinking Time」など）を多数設けた。
- (4) 自国や国際社会における現代のさまざまな課題に関し、学習者がみずから問いを立てて多面的・多角的に考察し、自主的・自律的に選択・判断できるよう、多様な観点の題材や資料を掲載した。

2. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
第1章 公共的な空間をつくる私たち 第1節 青年期と自己形成 第2節 人間としての自覚 第3節 日本人としての自覚	・ 青年期のもつ意義や自己形成の課題について考えさせるとともに、青年としての生き方について自覚を深めさせるように展開した（第2号）。 ・ 「善く生きること」を目指した先人の思索を紹介するとともに、その先人たちがどのように社会に対していたかを考察できるようにした（第1号）（第3号）。 ・ 先人の思索や日本の生活文化・伝統を紹介し、学習者自身や学習者のまわりに暮らす人々の価値観・生き方への影響について気付かせるよう配慮した（第5号）。	12～19 ページ 20～25 ページ 26～31 ページ
第2章 公共的な空間における人間としてのあり方生き方 第1節 西洋近現代の思想 第2節 現代の諸課題と倫理	・ 「理性的に生きること」を目指した先人の思索を紹介するとともに、その先人たちがどのように社会に対していたかを考察できるようにした（第1号）（第3号）。 ・ 自然の生態系がもつ特徴や人類の活動が自然に与える影響を知り、地球規模で環境保全に取り組まねばならないことを気付かせるような構成にした（第4号）。 ・ 生命科学やバイオテクノロジーの発展にともない提起されてきたさまざまな問題について、多様な角度から考察できるように構成にした（第4号）。	34～53 ページ 54～59 ページ 60～63 ページ

第3章 公共的な空間における基本原理 第1節 民主社会の基本原理 第2節 日本社会の基本原理	・民主社会や日本国憲法の基本原理を紹介し、他者と共に生きる社会の実現に向けてどのようなことが大切なのか気付かせるよう配慮した（第1号）（第2号）。 ・男女の平等，個人の価値の尊重，共生社会などの観点から，誰もが生きやすい社会の実現について考察できるようにした（第2号）（第3号）。	74～101 ページ 90～101 ページ
第4章 現代の民主政治と政治参加の意義 第1節 日本の政治機構 第2節 政治参加と民主政治の課題	・統治機構の基本的なしくみを理解し，現代の政治状況に対する見方を養えるような構成にした（第1号）（第3号）。 ・日本の司法制度に関する基本的な知識を身に付け，主権者として，自主・自律，正義，公共の精神などの観点から，よりよい選択・判断ができる力を身に付けられるよう配慮した（第1号）（第2号）（第3号）。 ・積極的に社会の形成に参画したり，政治に参加したりすることの重要性や意義を知り，これらに主体的に寄与する態度を育成できるよう配慮した（第3号）。	104～117 ページ 108～117 ページ 118～129 ページ
第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方 第1節 経済のしくみと市場機構 第2節 財政と金融 第3節 日本経済の発展と変化 第4節 豊かな生活と福祉の実現	・経済の基本的な理論やしくみを理解することにより，現代の経済状況に対する見方を養うとともに，幸福・正義・公正などの観点から解決策について考察できるように構成にした（第1号）（第3号）。 ・これまでの日本経済の進展とその変化を紹介するとともに，中小企業や地域経済，また農業が果たす役割の大切さについて気付かせるよう配慮した（第5号）。 ・法と契約に関する基本的な知識を身に付け，消費者として，自主・自律，正義，公共の精神などの観点から，よりよい選択・判断ができる力を身に付けられるよう配慮した（第1号）（第2号）（第3号）。 ・日本の労働法制について，その施行内容や改正内容を紹介し，勤労や男女共同参画の意義について理解を深めさせるよう配慮した（第2号）（第3号）。	132～189 ページ 158～167 ページ 168～173 ページ 176～181 ページ
第6章 国際社会の動向と日本の役割 第1節 国際政治の動向 第2節 国際政治の課題と日本の役割 第3節 国際経済の動向と国際協力	・国際法や国際組織の理念について紹介するとともに，国際社会をめぐる動向や日本との関係を概観しながら，日本社会の一員として，国際社会の平和と発展に寄与する態度を育成できるよう配慮した（第1号）（第5号）。 ・国際経済のしくみを理解するとともに，世界経済をめぐる動向や日本との関係を概観しながら，日本社会の一員として，国際社会の平和と発展に寄与する態度を育成できるよう配慮した（第1号）（第5号）。	192～217 ページ 218～235 ページ
課題探究編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち 課題探究の観点 課題探究の手引き	・現代社会が抱えるさまざまな課題を考察するにあたって，どのような観点が存在するのか具体例をあげてわかりやすく示した（第1号）。 ・日常生活や学習の過程で生じた疑問に対し，自発的に疑問を解明する態度を養えるようにした（第1号）。	236～237 ページ 238～247 ページ

3. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

(1) 全体として、次のことに配慮した。

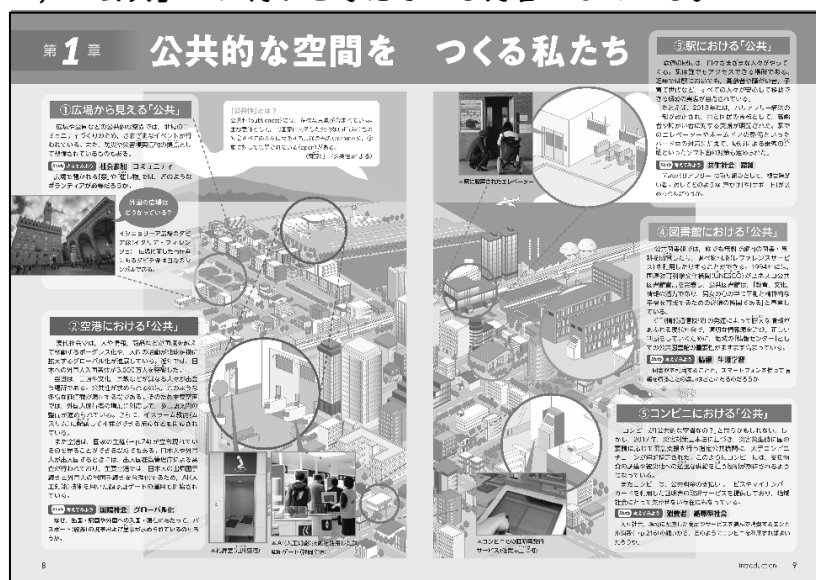
- ・カラーユニバーサルデザインに配慮し、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォント（UDフォント）を使用した。
- ・口絵⑩「公民ダッシュボード」や p.6「本書の構成」、節の冒頭などに「二次元コード」を設け、教科書に関連したグラフ・統計データをまとめた「公民ダッシュボード」や関連サイト、動画へのリンク、学習理解度を確認する「確認テスト」の各種コンテンツにアクセスできるようにした。

(2) 前見返しなど

- ・前見返しに「今日の世界」「日本の世界遺産」を掲載し、他国の尊重、我が国の伝統や文化の尊重の意識を高められるようにした。
- ・一般的な教養を高め、専門的な知識を習得する一助として、pp.2～3 に「ニュースの記録」を設けた。

(3) 本文

- ・pp.8～9「Introduction」では、広場、空港、駅、図書館、コンビニエンスストアを例に、「公共」とは何かを考えさせる内容としている。



- ・pp.10～11では、「哲学対話」を始めてみよう」のコラムを設け、対話的な実践によって、学校教育法第51条での目標の達成を図ることができるようにした。
- ・本文中の太字や読みにくい漢字に積極的にルビを付け、一般的な教養を高められるように配慮した。
- ・中学校公民とのつながりを重視し、本文重要語句のうち、中学校公民で学習した最重要用語には赤色の下線を引いた。
- ・学校教育法第51条「社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い」の規定を踏まえ、「CLOSE-UP」「Thinking Time」での「考えてみよう」「話し合ってみよう」のコーナーで思考力・表現力を養う機会を多数設けた。
- ・pp.236～247に「課題探究編」を設け、課題探究活動を行いやすくするための配慮をした。
- ・「巻末資料編」として、「思考・判断・表現のためのツール」（選択・判断の手掛かりとなる考え方、用語集、思考ツール、持続可能な開発目標（SDGs）など）や、日本国憲法・民法・刑法などの日常生活に関連する法令を掲載している。

(4) 後見返し

- ・現代の日本と世界の動きを理解する一助として、後見返しに「現代の日本と世界」（年表）を設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
106-92	高等学校	公民	公共	
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
104 数研	公共104-901	改訂版 公共		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

(1) 公民科の目標に留意したうえで、授業でも扱いやすい教科書配列

- ① 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、公共的な空間における基本的原理について学ぶ（第1章～第3章）。
- ② それまでの学習内容を活用して、事例としての法・政治・経済に関する現代の諸課題を学ぶ（第4章～第6章）。
- ③ 現代の諸課題を主体的に解決するためのより実践的なアウトプット方法を学ぶ（持続可能な社会づくりの主体となる私たち）。

CONTENTS もくじ 第1章 公共的な空間をつくる私たち 第2章 公共的な空間における人間としてのあり方と能力 第3章 公共的な空間における政治的参加と政治的責任 第4章 現代の諸課題と政治的参加 第5章 現代の諸課題と政治的参加 第6章 現代の諸課題と政治的参加	5 現代の諸課題と政治的参加 第5章 現代の諸課題と政治的参加 第6章 現代の諸課題と政治的参加 6 現代の諸課題と政治的参加 第6章 現代の諸課題と政治的参加 第6章 現代の諸課題と政治的参加
--	---

(2) 生徒の知識・技能および思考力・判断力・表現力等の習得に役立つさまざまな工夫

●Introduction

- ・各章の始めに見開き2ページで設け、公共にかかわるさまざまな話題を取り上げた。学習への関心・意欲を高められるよう、高校生にとって身近な話題に関する解説、その章の概観を簡潔な数値・統計で示した「数字で見る」（第3章～第6章のみ）を設けている。

●本文

- ① 文章：生徒が一読して理解できる文章となるよう工夫を行っている。中学校公民で学習した最重要用語に赤色の下線を引き、中学校での学習を踏まえて高等学校の学習ができるよう配慮した。また項目内に小見出しを付け、学習内容がはっきりわかるようにした。
- ② 図表・写真：本文上部に図表・写真・イラストなどを掲載することにより、生徒が興味をもって学習でき、本文に関連する内容を視覚的に理解・把握できるようにした。
- ③ Question（問いかけ）：授業展開を容易にし、かつ目的意識をもって学習できるように、各項目に「Question」を設け、「問い」をつねに意識しながら学習できるようにした。

- ④補足／比較／文献・資料／判例／Life：本文に掲載された事項について，その内容をさらに深く理解するための解説を本文横などに設けた。
- ⑤プラスアルファ：公共を理解するうえで参考になる内容を取り上げた。
- ⑥Point：本文末に各項目で学習した内容のまとめを簡潔に記し，生徒の理解に役立つようにした。
- ⑦Check／Challenge：チェック問題や演習問題で，各項目の学習内容の理解度を確認できるコーナーを設けた。

第1章 日本の政治機構

1 国会のしくみと役割

問題1 日本の二院制について，次の問いに答えよ。

③ **Question** 日本の国会は，衆議院と参議院からなる二院制である。両院の権限を比較し，その違いを説明せよ。

④ **補足** 国会の権限は，憲法第42条に規定されている。衆議院と参議院の権限を比較し，その違いを説明せよ。

⑤ **Point** 国会の権限は，憲法第42条に規定されている。衆議院と参議院の権限を比較し，その違いを説明せよ。

⑥ **Point** 国会の権限は，憲法第42条に規定されている。衆議院と参議院の権限を比較し，その違いを説明せよ。

⑦ **Check** 国会の権限は，憲法第42条に規定されている。衆議院と参議院の権限を比較し，その違いを説明せよ。

●CLOSE-UP／SKILL-UP

- ・「CLOSE-UP」では，本文の関連内容を中心に，一つの話題について深く掘り下げて学ぶことができる。
- ・「SKILL-UP」では，さまざまな情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能などを身に付けることができる。
- ・「CLOSE-UP」「SKILL-UP」では，文章中の重要ポイントに青色の下線を付し，初学者でも重要ポイントを把握しやすくなるよう配慮した。

●Thinking Time

- ・各項目の学習内容に関連した話題を取り上げ，公共に関するさまざまな問題を考察することができる。対話形式の文章により，合意形成や社会参画を視野に入れつつ議論する力を養えるようにした。

Thinking Time 7

民主政治における決め方とは？

① 民主政治とは何か？

② 民主政治の仕組みとは？

③ 民主政治の課題とは？

④ 民主政治の未来とは？

⑤ 民主政治の意義とは？

⑥ 民主政治の価値とは？

⑦ 民主政治の責任とは？

⑧ 民主政治の使命とは？

⑨ 民主政治の理想とは？

⑩ 民主政治の実現とは？

●課題探究編 持続可能な社会づくりの主体となる私たち

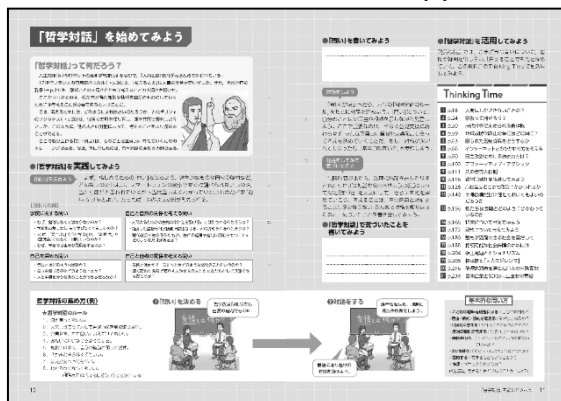
- ・それまでの学習内容を踏まえて、現代の諸課題を主体的に解決するためのより実践的なアウトプット方法を取り上げた。

●巻末資料編

- ・「思考・判断・表現のためのツール」で、選択・判断の手掛かりとなる考え方や本文理解に役立つ用語集、思考ツール、持続可能な開発目標（SDGs）などを掲載している。
- ・日本国憲法・民法・刑法など日常生活に関連する法令を掲載した。

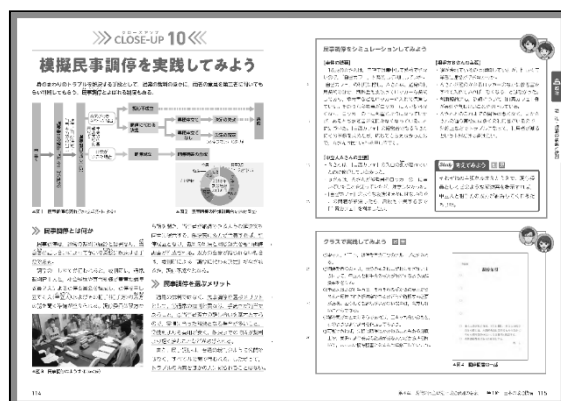
(3) 公共の内容に関連した特徴的なコラムの掲載

●「哲学対話」を始めてみよう (pp.10~11)



←「人間は、個人として相互に尊重されるべき存在であるとともに、対話を通して互いの様々な立場を理解し高め合うことのできる社会的な存在であること、……について理解すること。」
(学習指導要領「2 内容」A (1) ア (1))

●CLOSE-UP 10 模擬民事調停を实践してみよう (pp.114~115)



←「……司法参加の意義などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、憲法の下、適正な手続きに則り、……個人や社会の紛争を調停、解決することなどを通して、権利や自由が保障、実現され、社会の秩序が形成、維持されていくことについて理解すること。」
(学習指導要領「2 内容」B ア (7))

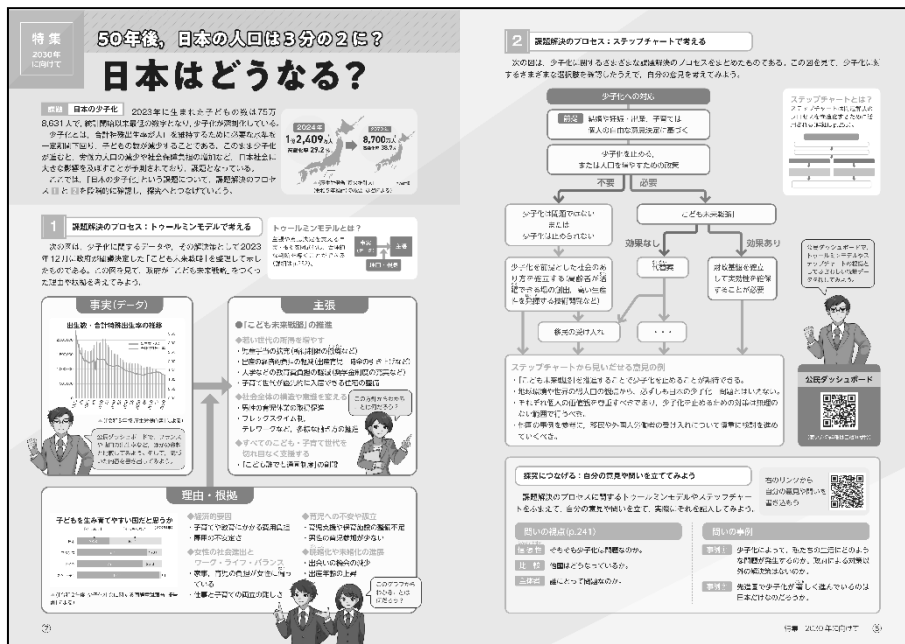
●Thinking Time 11 高校生はどこまで政治にかかわれるか (pp.128~129)



←「政治参加と公正な世論の形成……などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、よりよい社会は、憲法の下、個人が議論に参加し、意見や利害の対立状況を調整して合意を形成することなどを通して築かれるものであることについて理解すること。」
(学習指導要領「2 内容」B ア (1))

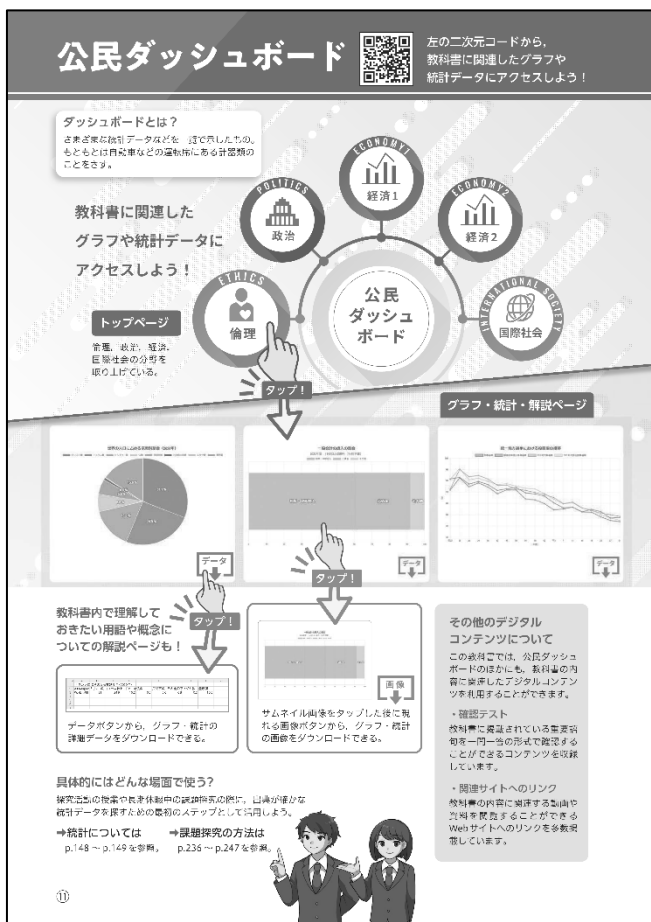
(4) 現実社会に存在する重要課題の解決に向けた考察・構想を促す口絵と巻末資料編

●特集 50年後、日本の人口は3分の2に？ 日本はどうなる？（口絵⑦～⑧）



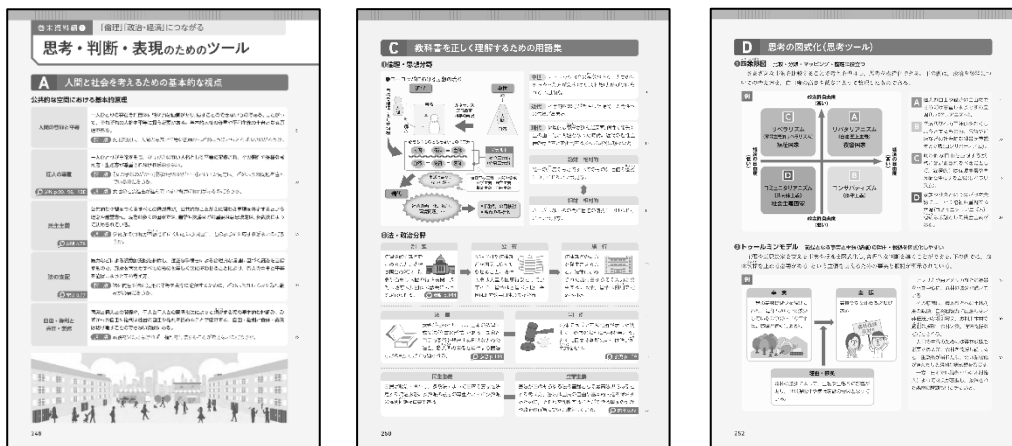
← 口絵⑦～⑧の特集では、深刻化する少子化をテーマに、思考ツールを用いて、課題解決のプロセスを段階的に確認し、探究につなげていくことを企図した紙面としている。

●公民ダッシュボード（口絵⑪）



← 口絵⑪では、教科書に関連したグラフ・統計データをまとめた「公民ダッシュボード」（「二次元コード」よりアクセスできるコンテンツ）の使い方をわかりやすく説明している。

●「倫理」「政治・経済」につながる 思考・判断・表現のためのツール (pp.248～259)



↑巻末資料編の「「倫理」「政治・経済」につながる 思考・判断・表現のためのツール」では、教科・科目を貫いて参照できる以下のツールを掲載している。

- A 人間と社会を考えるための基本的な視点
- B 選択・判断の手がかりとなる考え方
- C 教科書を正しく理解するための用語集
- D 思考の図式化（思考ツール）
- E 公民重要略語一覧
- F 持続可能な開発目標（SDGs）
- G 教科書の知識を試験にどうつなぐか

2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1章 公共的な空間をつくる私たち	A 公共の扉 (1) 公共的な空間を作る私たち	8～31 ページ	7
第2章 公共的な空間における人間としての あり方生き方	A 公共の扉 (2) 公共的な空間における人間としての 在り方生き方	32～71 ページ	11
第3章 公共的な空間における基本原理	A 公共の扉 (3) 公共的な空間における基本原理	72～101 ページ	8
第4章 現代の民主政治と政治参加の意義	B 自立した主体としてよりよい社会の 形成に参画する私たち ア- (ア) (イ) (エ), イ	102～129 ページ	8
第5章 現代の経済社会と経済活動のあり方	B 自立した主体としてよりよい社会の 形成に参画する私たち ア- (ア) (ウ) (エ), イ	130～189 ページ	17
第6章 国際社会の動向と日本の役割	B 自立した主体としてよりよい社会の 形成に参画する私たち ア- (イ) (ウ) (エ), イ	190～235 ページ	13
持続可能な社会づくりの主体となる 私たち	C 持続可能な社会づくりの主体となる 私たち	236～247 ページ	6
		計	70